



TAKEDA Smile

Web配信 第8号
令和3年7月
武田中学校 高等学校
教育後援会・広報委員会

2021 体育祭

2021年5月14日、15日に体育祭が執り行われました。とてもいい演技、競技に感動の一日でした。コロナ禍での感染対策もあり、準備、進行大変だったと思います。先生ありがとうございました。

応援団長からのコメント

青団は仲が良くとても笑顔が多いうる感じました。団別練習が始まる時は、大人数をどのように指示すればよいのか分からず苦労しました。しかし、私の出した指示をきちんと聞いてくれたことや、同級生や下級生が気軽に話しかけてくれたおかげで、団別練習や応援団の練習をやっていくにつれて不安がやわらいでいきました。また、最後まであきらめないことの大切さを学びました。あきらめないことで、終わった後の達成感や応援合戦で優勝できたことの喜びを強く感じる事ができました。私はこの経験をこれからの生活に生かしていきたいと思ひます。約4か月間ありがとうございました。来年こそは優勝してほしいです。がんばれ青団！応援しています。

青団団長 網臺地 佳歩



青団



←動画はコチラから



最初は僕に大人数をまとめるのは無理だと思ひて不安でしたが、やってみると応援団の皆や先生方が協力して下さったことで、大変なことも多かったですが達成感がすごかったです。

また、今年の白団は応援に対する姿勢が特に良かったと思ひます。新型コロナウイルスの影響で、大声で応援することが出来ないし、2年ぶりの体育祭ということでもかなり戸惑ったことも多かったと思ひます。しかし、中学生から高校生まで多くの人が一丸となって応援してくれてとても感動しました。来年は今年達成できなかった総合優勝を目指して頑張ってください！天真団長！絶対優勝してね！期待しています！

白団団長 土本 悠太



白団



←動画は
コチラから



赤団

私は応援団長として、春休みから休日は朝から夕方まで皆と練習し、なかなか合わなかった振付がだんだん合っていくことに喜び、楽しんで辛いことも乗り越えました。残念ながら結果はトロフィーをもらうことはできなかったけど、たくさん練習して頑張った分辛かったけど、演舞のあと皆が最高の笑顔で、最後までやり切れたので悔いはありません。体育祭で学年を超え普段は関わらない人と仲良くなり、普段は学べない多くのことを学ぶことが出来ました。コロナ禍で多くの制限があり声出しもできなかったけど、なんとか工夫し皆で応援し楽しむことができました。高校生最後の体育祭がとても充実したものになり最高の思い出を作れて良かったです。

赤団団長 小田 萌花



←動画は
コチラから



動画を見終わったら【チャンネル登録】よろしくお願いします！



白
団



赤
団



青
団





<最後で最高の体育祭>

うちの高3の娘は3人兄弟の末っ子です。長女の幼稚園初めての運動会から17年間、毎年運動会を見続けてきましたが、とうとう今年で最後の体育祭になってしまいました。感無量・・・。

末っ子娘は特にインドアで運動は苦手ではないけれど体育祭を楽しみにするタイプではありませんでした。ですが、武田の体育祭は練習量も多く完成度が高いので、やりがいを感じられたのか、とても楽しかったと言っていました。うれしかったです。

コロナ禍の中、体育祭が行われただけでも感謝なのに、取材のために最後の体育祭を見ることができ、入学してから広報委員をやっていて、本当に良かったです。

応援の仕方や競技の進め方にもコロナ対策がなされており、そんな中でも生徒さんの一生懸命が伝わる、とてもいい体育祭でした。最高の体育祭をありがとうございました。 広報委員 山田





記事中の男子生徒(右)と、
ペアの男子生徒(左)です！



<感動をありがとう!!>

武田生の弾けんばかりの笑顔と一生懸命さを前に、たくさんの感動と涙ありの体育祭でした。その中の1つ、障害物競争での出来事をご紹介します。

障害物競争は、①各団2名ずつ計6名が一斉スタート②各々ネットをくぐる③麻袋に入り、ジャンプで移動④同じ団の子とペアになり、縄跳びをそれぞれ片手に握り、前飛び連続10回⑤大きなズボンにペアそれぞれが左右に入り、ゴールまで走るという競技です。

取材中、③で麻袋から脱出した男子生徒の靴の片方が目の前に!! 急いでその生徒に靴を渡そうと拾い上げたのですが、その生徒は何事もなかったようにペアを探し、④⑤と駆け抜けていきました。

片足靴なしでは縄跳びも走るのも痛かったことでしょう。しかし、ペアの生徒のため、団のために、少しでも早くゴールを切ることに考えてなかった彼に感動しました。

そして、ここから更に感動する出来事が!!

私は、その片方の靴をグラウンド整備の生徒に預けてその場を立ち去り、次の競技が開始して、先ほどの出来事を同じ広報委員の方に話して聞かせていました。そしたら、私たちに話しかけてくる生徒がひとり...。なんと!一連の出来事の張本人が、私が靴を拾い預けたことにわざわざお礼を言いに来てくれたんです!!

コロナ禍で人との接触を避ける現在で、わざわざお礼を言いに来てくれて、とてもとても嬉しかったです。そして、その生徒がお礼を言いに来てくれたということは、私が靴を預けた生徒が、そのことを本人に伝えてたってことなんですよ。とても心が温まりました。改めて、ありがとう。

広報委員 中島





2021 体育祭



<体育祭を支えてくださる方々>

今年の体育祭は保護者が観戦出来ない中、高3広報の5名が撮影・取材という形で参加させていただきました。生徒主体の行事ではありますが、先生方のサポート、全力で走り生徒たちを撮るカメラマンさんお二人のお仕事に感動しました。このような中、生徒たちは思い切り体育祭を楽しんだのではないのでしょうか？笑顔がたくさん溢れてました。

当日は体育祭を支えてくださった方々をメインに撮らせていただきました写真で雰囲気を感じていただけたら嬉しいです。

来年の体育祭は保護者の方の応援が響き渡り盛大に行われるといいですね！

広報委員 大村





<俺は娘の応援団！>
 コロナ禍において、行動制限もかかり、我慢が続く中、娘に今だからこそ出来る事と言いつけながら過ごしていましたが、やはりストレスも感じていたと思います。今回の応援団を見ているとそんな事も吹き飛ばしてしまうほどの迫力で、演技後には達成感を感じさせる笑顔があったり、感動の涙もあったりと、子供たちの色んな思いが伝わって、私自身も感極まりました。
 昨年より様々な行事が中止となってしまう中、娘の高校生活も最後の年となり、このままでは...と思っておりましたので、とても良い体育祭となりました。
 広報委員 藤原



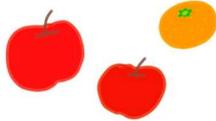


<みんなの思いが実を結んだ体育祭>

「天気心配だね。できるのかな。でも、やりたいね。」娘とその友達の数日前の会話でした。去年はコロナ禍で何もできなかったからこそ、誰もが、今年こそはやりたいと思っていたことでしょう。そして、日程の前倒し、かつ、2日にまたいでの開催という異例の決定につながります。

練習期間は短かったにもかかわらず、すべての競技、集団演技そして応援合戦のどれもが素晴らしいものでした。選手や応援団はもちろん、各競技のかじ取りを担う指揮、黙々と道具を運ぶ用具係、公平な目線の審判、緊張しつつ競技を見守る救護係、競技を盛り上げ、記録を残す放送担当や花を添える吹奏楽部、心は熱くテントから応援した者、みんなの「体育祭を成功させたい」という強い思いが実を結んだ結果がそこにありました。それは、先生方の周到綿密な準備と支援のおかげに他なりません。生徒そして先生、誰一人欠けても開催することはできなかったと思います。感動をありがとうございました。

広報委員 花之木



早くも7月となり、夏本番、皆様おかわりないでしょうか。

お陰様で、無事、Web版 TAKEDA Smile 第8号を発刊することができました。ありがとうございます。

コロナ禍の中、不安でいっぱいでしたが、今年度は、クラス委員の中から、たくさんの方が広報委員にご参加下さることになり、とても心強いです。今後も、協力しあい、学校の様子をお伝えてまいります。

皆様からも、学校のこんなことが知りたい、取り上げてほしいこと、ご意見等ございましたら、広報委員へ是非お知らせ下さい。お待ちしております。暑さが続きますので、皆様ご自愛下さい。広報委員長 花之木貴子

編集
後記